

世界史 授業 No.91 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

近世文化の二重人格とは何か？ またそれぞれの代表とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 149・150）の中から見つけよう！

絶対王政の時代、ヨーロッパの芸術は、君主の宮廷生活との結びつきを深め、彼らの権威を誇示するのに役立てられた。それをもっともよく示すものは、(1)に代表される豪壮華麗な(2)美術である。絵画ではフランドル派のルーベンスや、スペインのベラスケスらが数々の肖像画や宗教画で宮廷をかざった。18世紀になると、繊細優美な(3)美術が広まり、王侯貴族や富裕な市民に愛好された。プロイセンのフリードリヒ2世がポツダムにたてた(4)は、この様式の建築として名高い。また、このころドイツのバッハやヘンデルらが(2)音楽を大成した。

宮廷文化がさかんになる一方で、商工業の隆盛により、豊かな(5)が文化の担い手として大きな影響力をもつようになった。独立後のオランダでは、(6)が明暗を強調する画法によって市民の力強さを表現し、イギリスでは、『ロビンソン=クルーソー』や『ガリヴァー旅行記』といった市民小説が広く読まれた。

<記入欄>

- 1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T.Q.「近世文化の二重人格とは何か？ またそれぞれの代表とは？」

T.A.

近世ヨーロッパ文化には、ルネサンスから受け継ぐ〔① 〕文化と、市民社会が栄えるオランダやイギリス中心の〔② 〕文化という二面性をもっていた。〔①〕文化としては、フランスに〔③ 〕・ラシーヌ(悲劇)やモリエール(喜劇)に代表される古典主義戯曲文学が生まれた。また、〔②〕文化では絵画でオランダに名作「夜警」で知られる〔④ 〕が現れ、イギリスでは『失樂園』の〔⑤ 〕が代表のピューリタン文学や、『ロビンソン=クルーソー』のデフォーと『ガリヴァー旅行記』の〔⑥ 〕に代表される国民文学が生まれた。

<記入欄>

- ① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ [] ⑥ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []